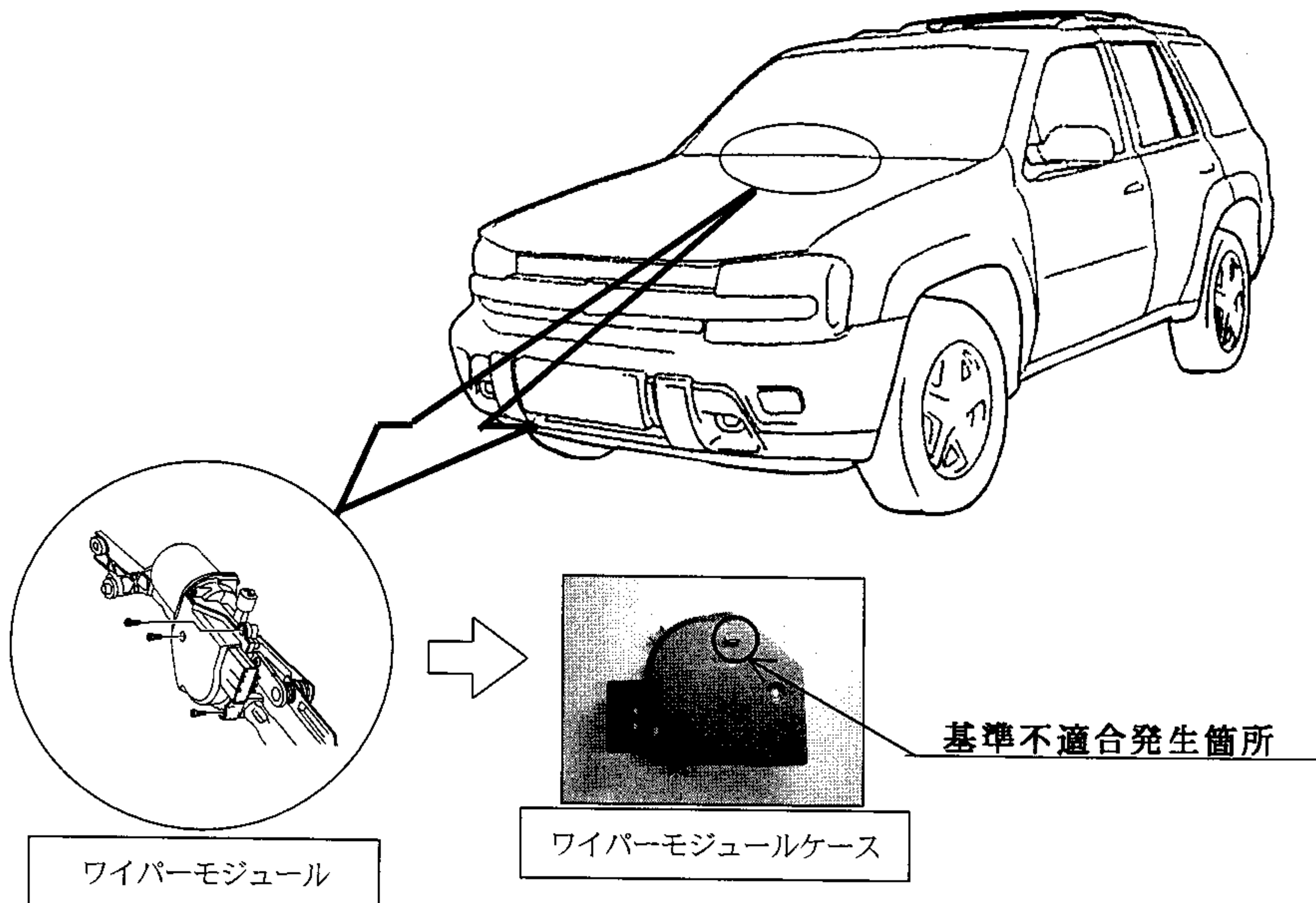


改善箇所説明図



窓ふき器のワイパーモジュールのケース形状が不適切なため、当該ケースの空気穴より水が浸入することがある。そのため、そのまま使用を続けると、ワイパーモジュール内部の基板が腐食または短絡して、当該窓ふき器が誤作動または作動しなくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、窓ふき器のワイパーモジュールのカプラを点検し、水が侵入した形跡がある場合は、対策品に交換する。また、異常がない場合は、当該ケースの空気穴に通気性シールを張りつける。

対策品の供給に時間を要するため、暫定措置とし、すべての使用者へ不具合内容を案内し、対策については、後日、部品の確保が出来次第、改めて通知する。

識別：運転席ドアのインフォメーションラベルに水色のシールを貼付する。

注：  は加工または交換部品を示す。